

令和元年8月30日

広島県知事 湯崎 英彦 様

北広島町長 箕野 博司

(仮称)益田匹見風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する町意見

## 1 統括的事項

(1) 北広島町は、再生可能エネルギー全般について、平成19年に北広島町地域新エネルギービジョンを策定して推進していますので、地球温暖化の防止や地球環境保全の面で自然の力を利用するエネルギーの重要性については、町民や町内事業者の理解が得られていると認識しております。

しかし、当該事業は、事業化と引き換えに先人から守り続けてきた「かけがえない自然環境」を失い、「愛される眺望景観」を失い、周辺住民の「健康で心身ともに穏やかな生活環境」を失う等、多大な影響を及ぼすことも懸念されます。

これまでの地域の歴史、文化、自然環境等を総合的に勘案して、以下のとおり北広島町の意見を述べます。

(2) 事業の実施にあたっては、現地調査および地元住民からの意見聴取を十分に行い、住民の不安を除くよう科学的根拠のあるデータを示し説明しながら事業内容を検討してください。調査、予測及び評価にあたっては、既設の風力発電機の運用から得られた最新情報も活用し、累積的な影響も考慮してください。環境への重大な影響を、回避するよう検討し、困難な場合は事業想定区域の再検討を行うなど事業計画の抜本的な見直しを行なってください。

(3) 今後の手続きにあたっては、地元住民、周辺事業者等への積極的な情報提供や

説明などを行い、相互理解の促進に努めてください。配慮書では、スマートフォンでの標準ブラウザでは本文が表示されないという状況にあったので、方法書以降においては、「環境影響評価図書のインターネットによる公表に関する基本的な考え方」（平成 24 年 3 月環境省総合環境政策局環境影響評価課）を参考に、利用者のコンピュータ環境（利用ソフトウェア）の違いにより利便性への著しい差異が生じないように配慮をしてください。

- (4) 北広島町では「北広島町環境保全に関する条例／北広島町環境基本計画」の他、「北広島町生物多様性の保全に関する条例／生物多様性きたひろ戦略」、「北広島町サイン計画」を策定しています。これら条例や計画との整合性について配慮をしてください。
- (5) 方法書の作成にあたっては、風力発電機及び送電設備の配置等を具体的に示した上で、専門家の助言を得て調査、予測及び評価の手法を検討してください。

## 2 個別の事項

### (1) 騒音及び超低周波音

風力発電機の配置等の検討にあたっては、事業実施想定区域周辺の住居等への影響について、『風力発電施設から発生する騒音に関する指針（平成 29 年 5 月 26 日 環境省）』やその他の科学的知見及び同型機の先行事例の知見を反映し、影響を回避してください。とりわけ、健康被害が発生する恐れのある範囲については疫学的見地からの研究事例を参考にし、確実に疾患等が発生しないよう、影響を回避する措置を講じてください。

調査、予測及び評価にあたっては、地形による影響、既設及び計画中の風力発電施設による累積的な影響を考慮した上で、適切に実施してください。方法書では、影響の有無を評価する基準を示すとともに、根拠となる研究事例等を明示してください。

予測手法としては、配慮書段階では「安全側として 2.0 km の範囲を設定」とし

ていますが、根拠としている『風力発電所の環境影響評価のポイントと参考事例（環境省総合環境政策局 平成 25 年）』では「単機あたりの大型化の傾向」が指摘されています。また「環境影響を受ける範囲であると認められる地域」として引用している「1km」も、平成 10 年に出された省令を根拠としており、計画されている風力発電施設に沿うものではありません。事業地周辺は騒音に係る苦情の発生数が極めて少ないところです。これは工場や自動車などが少ないことが背景にあり、周辺住民は騒音の発生に対しての耐性が低いことが予測されます。配慮書では配慮が特に必要な施設として学校、病院その他としてありますが、町民の健康で文化的な生活を将来にわたって確保するためには、表 4.3-3 に示される住宅等も同等に配慮し、『「風力発電施設から発生する騒音等測定マニュアル」(平成 29 年 5 月 26 日 環境省)』に沿って調査、予測及び評価を行なってください。

## (2) 風車の影

風力発電機の配置等の検討にあたっては、事業実施想定区域周辺の住居等への風車の影（シャドウフリッカー）による事業実施想定区域周辺の住宅等への環境影響が生じるおそれがあることから、適切な方法により調査、予測及び評価を行った上で、風力発電機の配置等を検討してください。

なお、風車の影による影響は、影がかかる時間の長短にかかわらず影響を及ぼすおそれがあるため、風力発電機の配置等の検討にあたっては、影響が回避されるよう検討してください。

## (3) 水環境

事業地に隣接するやわたハイランド 191 リゾートでは表流水を用水として利用しており、その水源は嶽山から湧出する地下水です。事業が地下水の湧出に与える影響を調査、予測及び評価した上で、影響を回避する措置を講じてください。

## (4) 動物・植物・生態系

複数の専門家から、調査やデータが無いことが指摘されています。特に昆虫類、大型猛禽類、渡り鳥、コウモリ類など、移動性動物については十分な調査を行い、

影響が回避されるよう検討してください。

また狩猟従事者からは、既設の風力発電施設付近でのイノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマの目撃数減少と、隣接地域での増加が、経験的に指摘されています。これらの動物は農作物に重大な被害を及ぼし、人身事故の恐れもあるため、カメラトラップやGPSセンサーを用いて詳細な行動圏を把握するとともに、地域への影響が回避されるよう検討してください。なお、動物の個体数や行動範囲は年毎の変動が大きいいため、有効なデータを得るために複数年の調査を実施してください。

## (5) 景観

本事業では山の稜線沿いへの風力発電施設の建設が予定されており、想定している風力発電機は134メートルから155メートルと巨大なため、影響を及ぼす範囲は広範囲に及び、影響も大きいと想定されます。景観については慎重且つ適切な調査、予測及び評価を行い、景観への影響を回避してください。

主要な眺望点に鷹ノ巣山、冠山、二川キャンプ場、および聖湖キャンプ場、千町原が含まれていません。それぞれ極めて重要な観光資源です。眺望点や眺望方向については、既存資料による調査とともに、当町関係課、地域住民、周辺事業者等の意見を聞くなどし、実態に即した選定を行なってください。

見えの大きさ（垂直見込角）として参考としている表が送電鉄塔のものであります。風力発電機はブレードが動くこと、発光することで視認されやすさが異なります。さらに、八幡地区には周囲に高層建築物が無く視野も広いため、垂直見込角はより小さいものであっても視認されやすいと予測されます。八幡地区から「弥畝山の施設が気になる」という声があります。評価にあたって、安全側を取り、垂直見込角はより小さい値を採用してください。

地域住民や周辺事業者からは、景観の変化を懸念する声が上がっているため、シミュレーションによる合成動画を活用するなど分かりやすい説明に努めてください。

## (6) 人と自然との触れ合いの活動の場

計画段階配慮書では、事業実施想定区域には主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在しないことを理由に「人と自然との触れ合いの活動の場」を計画段階配慮事項から除外しています。しかし、事業実施想定区域には、北広島町の主要な観光地である「やわたハイランド 191 リゾート」が隣接しており、重大な影響が予測されます。

「やわたハイランド 191 リゾート」は、県内外から多くの来訪者があるスキー場です。北広島町の主要な観光施設であり、住民の雇用先にもなっています。騒音、低周波、風車の影、景観の変化などによる環境の変化は来訪者数の減少につながるおそれがあり、スキー場閉鎖や雇用の損失を招く可能性もあるため、当該事業地への各項目の影響については慎重に調査、予測及び評価してください。同時に、当該リゾート事業者から意見聴取を行うとともに、十分に説明をしてください。

また、事業実施想定区域は西中国山地国定公園の特別地域と近接しています。登山者や公園利用者の状況を適切に調査し、登山道や眺望点に及ぼす騒音、低周波、風車の影、景観の変化を調査、予測し、評価してください。